

わたくしたちは
だれにも親切にしましょう
正しく時間を守りましょう
まちに緑を育てましょう
公共物を大切にしましょう
清潔な環境を作りましょう



7月11日にオープンした市営美保球場の全景(写真右)。写真上は、7月22日から8日(雨で1日順延)、同球場で開かれた夏の全国高等学校野球選手権鳥取大会の様相(7月22日、1回戦第1試合の根雨高対倉吉東高)



わかとり国体正式決定

60年開催 会場建設、順調に進む

六十年わかとり国体(第四十回)の開催が、七月七日、日本体育協会理事会で正式に決定されました。

本市は秋季大会(十月)の主会場地、開・閉会式をはじめ、陸上競技、

明日へ向かってはばたこう
わかとり国体

体操(新体操)、剣道、バスケットボール、軟式庭球、軟式野球、クレー射撃、ライフル射撃の八競技と公開競技のスポーツ芸術が実施されることになっており、県営布勢総合運動公園、市営美保球場、市千代テニス場、市営鳥取国際クレー射撃場の四つの新設会場の建設が順調に進められています。

わかとり国体は四市二十二町村で開催されることになっており、夏季大会(九月)は米子市を主会場に四競技が、秋季大会(十月)は本市を主会場に三十三競技(公開競技の高校野球、スポーツ芸術を含む)が行われることになっています。

会場整備では、秋季大会開・閉会式のほか陸上競技と軟式野球の二競技が実施される県営布勢総合運動公園には、二周四百メートル(ハコリス)のトラックを持つ第一種公認陸上競技場(三万人収容)や、一万人収容の野球場(両翼九十二メートル)、補助競技場、三百メートルトラックのある多目的広場などが整備されることになっており、五十八年度には主要施設が完成します。クレー射撃会場の市営鳥取国際クレー射撃場(二百人収容)は覚寺地内にこの十二月末には完成する予定です。

布勢総合運動公園野球場とともに軟式野球会場となる市営美保球場(両翼九十二メートル、五千六百人収容)は、夜間照明施設と外野の芝生整備を残して六月末に完成、七月十一日にオープンしました。また軟式庭球会場の市千代テニス場(コート十二面)は、観客席など周辺整備のほかに既に完成しており、五十四年四月に六面が、五十六年八月には残り六面が使用開始されています。このほかの会場には既設施設が使用されます。

実施競技と会場

本市では次の8種目のほか、秋季大会開・閉会式(布勢総合運動公園陸上競技場)とスポーツ芸術(公開競技)も実施されます。

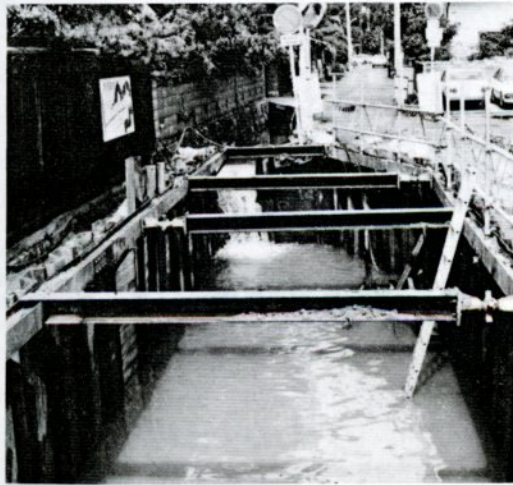
	陸上競技 (成年男女、少年男女) 布勢総合運動公園陸上競技場 (58年度完成)
	体操(新体操) —少年男女) 市民体育館
	剣道 (成年男子、少年男子) 西高講堂
	バスケットボール (成年男女) 鳥取産業体育館、城北高体育館、農高体育館、東中体育館、桜ヶ丘中体育館
	軟式庭球 (成年男女、少年男女) 千代テニス場
	軟式野球 (成年男子) 布勢総合運動公園野球場(58年度完成)、美保球場、東高第2グラウンド、工高グラウンド
	クレー射撃 (トラップ、スキート) 鳥取国際クレー射撃場(57年度完成)
	ライフル射撃 (センターファイアーピストル=成年) 県警察学校射撃場

「浸水解消」へ工事進む

栗谷雨水幹線は今月末完成

今、市内の浸水常襲地域で「浸水解消」へ向けて、栗谷雨水下水道幹線建設をはじめ大路川、清水川、砂田川、山白川、狐川の各河川の改修工事、湯所川ポンプ場建設などが着々と進められています。栗谷雨水幹線は八月末にも完成の予定で、大雨のたびに浸水被害の出ている県庁前の浸水解消に大きな役割を果たします。また西大路ポンプ場も六月末に完成しています。

工事の進む栗谷雨水下水道幹線—栗谷町で



栗谷雨水幹線 旧袋川へ直接排水

大雨のたびに浸水被害の出ている県庁前の浸水を解消するため、五十五年二月に着工した栗谷雨水下水道幹線は八月末に全線完成の見込みとなっています。

この雨水幹線整備は、久松山系雨水排除対策の一環として実施しているもので、現在下水道管に流れ込んでいる栗谷川の水を途中でカットして、直接旧袋川に排水す

ることにしており、最大排水能力は毎秒六・〇トです。幹線ルートは、栗谷町からお堀を通り、東町、湯所町を経て国道29号を横断、旧材木町公有水路(ボックス管新設)を通り、出合橋北詰め付近の旧袋川までです。

総延長は、お堀部分(二百九十メートル)を含めて一千四百三十三メートルあり。栗谷町から長田神社鳥居前

まで(延長二百八十二メートル)は、幅二・七メートル、高さ一・五メートルのボックス管を敷設、同鳥居前からお堀までの水路(延長百三十三メートル)は、水路幅を三・六メートル、水路底を二・四メートルにそれぞれ拡幅。博物館入り口の宝珠橋下には幅四・〇メートル、高さ二・〇メートルのボックス管(延長八メートル)を敷設し、博物館横水路(延長三十メートル)も水路幅を四・八メートル、水路底を四・〇メートルにそれぞれ拡幅しています。お堀から旧袋川まで(延長六百五十六メートル)は幅二・〇

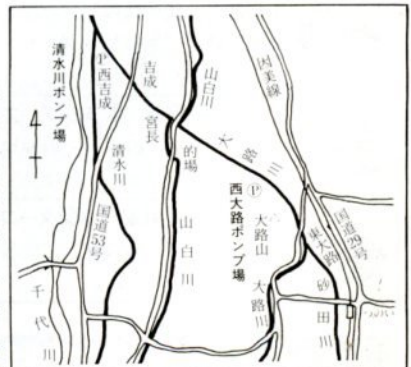
大路川、山白川、清水川、砂田川改修

西大路にポンプ場

高さ二・五メートルのボックス管を敷設しました。前年度までの総事業費は七億三千二百万円。本年度は四千百万円の事業費で、栗谷川取り入れ口から上流の栗谷川に幅二・七メートル、高さ一・五メートルのボックス管(延長六十六メートル)を敷設します。

駅南の的場、宮長など大路川左岸の浸水常襲地域の解消を目指して、大路川を中心に、同川に合流している山白川、清水川、砂田川の改修工事やポンプ場建設が建設省と県により進められています。五十五年二月に着工された大路川災害復旧助成事業では、本年度までの四カ年計画で、大路川と山白川の改修と西大路ポンプ場の建設が行われています。大路川は宮長—西吉成間の一・一キを、山白川は八坂—宮長間三・一キをそれぞれ改修、川幅を大路川で三・一九メートル、山白川で四・七—八・五メートルに拡幅します。また西大路地内に排水量毎秒一・三五トのポンプ二台を据え付けた西大路ポンプ場を建設、七月一日から稼働開始しています。

この事業の総事業費は約十九億三千万円。来年三月までには全工事が完成する予定で、大路川については二十一年に一回、山白川は十年に一回の集中豪雨にも耐えられることとなります。また大路川の東大路—宮長間の一・二五キについても、県が本年度から六十五年度までの九カ年計画により改修を開始。建設省でも大路川の千代川合流点付近の改修を進めています。清水川については、四十六年度から付け替え工事が行われており、六十年には全線完成の予定です。また清水川の大路川合流点付近に建設省が五十九年度にも清水川ポンプ場建設に着手する計画です。砂田川は、四十七年度から県が改修工事を実施、ほとんど完成、五十八年度までに香取—東大路間二・〇キが川幅七・八メートル—一七・〇メートルに拡幅されます。総事業費は約七億二千万円。



市政短信

松保保育所で交通安全教育 市内の各保育所や幼稚園では、園児に交通安全ルールをしっかり覚えさせて交通事故防止に努めよう、



と交通安全教室を年1～2回開いています。指導には、市交通安全教育指導員や市交通安全

全母の会連合協議会役員らが当たっています。7月15日には、松保保育所で本年度11回めの教室が開かれ、園児110人と父兄20人が同保育所前の吉岡街道の横断歩道で正しい横断の方法を学びました。

湖南つづらをまつりに500人 金沢地内の湖南休養センターで7月18日、2回めの湖南つづらをまつりを開きました。市民の憩いと研修、スポーツの場として同センターをさらに広く利用してもらおう、と実施したもので、市民500人が軟式テニス大会、ゲートボール大会、バドミントン大会を楽しみました。また同センター食堂では、ワカサギの天ぷら、エビの空揚げ、うなどんなどを特価で提供、温泉も無料開放して汗を流してもらいました。



世紀小と東中にプール完成 世紀小と東中に、このほど相次いで鉄筋コンクリート造りのプールが完成、7月23日に世紀小=写真=で、8月4日に東中でそれぞれ完成式が行われました。世紀小プールは、校舎増築に伴いビニールプールが撤去されたため、建設したもの。東中プールは新設。両プールとも幅13m、長さ25mの大きさです。簡易生命保険積立金還元融資施設で、建設費は、世紀小プールが2750万円、東中プールが3640万円です。

夏季マラソンで心地よい汗 7月25日の朝7時から、市民スポーツ広場で7回めの夏季マラソンを開きました。参加者は全部で96人。各自の走力や体力に応じて1500、3000、5000mの3コースに分かれて走り、全員が完走、心地よい汗を流しました。



夏季マラソンで心地よい汗 7月25日の朝7時から、市民スポーツ広場で7回めの夏季マラソンを開きました。参加者は全部で96人。各自の走力や体力に応じて1500、3000、5000mの3コースに分かれて走り、全員が完走、心地よい汗を流しました。

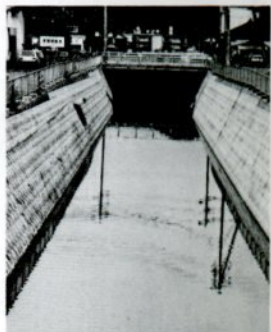
夏季マラソンで心地よい汗 7月25日の朝7時から、市民スポーツ広場で7回めの夏季マラソンを開きました。参加者は全部で96人。各自の走力や体力に応じて1500、3000、5000mの3コースに分かれて走り、全員が完走、心地よい汗を流しました。



狐川改修 60年にも新川完成

狐川改修事業は、県が四十四年に事業着手して以来、十三年余りを経過、新しい狐川は六十年ごろには全線完成の見込みで、建設省によるポンプ場は五十二年七月に既に稼動開始しており、新狐川が全線完成すれば、行徳周辺の浸水も解消されることとなります。

改修前の狐川の延長は三・六キロ。駅南の興南大橋付近から今町、幸町、新品治町など市街地西側を貫流して、国道9号丸山橋下流で旧袋川に合流していました。改修は、建設省、県、市の三者が分担して施行しています。建設省と県の担当区間は、特に川の状態が悪い鳥羽屋橋(南町公園北側)から下流三キロで、この区間は新しく川を掘り、江津で旧袋川と合流させています。新狐川の延長は四・二キロと、旧狐川より〇・六キロ長くなり、川幅は六・五メートル一六・五メートル。下流の一・三キロは建設省が、残り一・七キロは県がそれぞれ施行、総事業費は全体で約三十五億七千万円で、六十年ごろには全線完成の見込みです。



新田島大橋近くの新狐川

一方、狐川ポンプ場は、旧袋川との合流点の江津地内に、建設省が建設、五十二年七月五日に排水量毎秒五トンのポンプ一台が据え付けられ、稼動開始しています。このポンプ場の着工は四十八年で、総事業費は十億八千万円。将来は同じ排水能力を持つポンプ三台を据え付ける計画で、毎秒二十トンの排水能力のポンプ場になる予定です。

湯所川ポンプ場 9月から稼動開始

湯所町の浸水解消を担う湯所川ポンプ場は、同町一丁目地内の旧袋川との合流点に建設されています。建設省が五十五年二月に着工、この九月一日から稼動開始できる予定です。同ポンプ場には、排水量毎秒一トンのポンプ二台が据え付けられており、毎秒二トンの排水能力を持つポンプ場になっています。総事業費は約六億三千万円。

湯所川は水源を本陣山に持ち、市街地の北側を流れて湯所公園横を通り旧袋川に合流しています。同川は集中豪雨のたびに、下流付近が旧袋川からの逆流などにより水があふれ出て、周辺家屋が浸水の被害を受けていました。なお河道の改修は、県が四十八年度から五カ年計画で旧袋川との合流点から上流の七百メートルの区間で既に実施しています。

市民訪問団が交流深める

姫路と姉妹都市10周年

鳥取市と姫路市が四十七年三月

八日に姉妹都市の縁組を結んでから十周年を迎えたのを記念して、七月二十日、市民親善訪問団(团长 船越堅一・市自治連会長、四十人)が、緊密な友好関係を深めるように、と姫路市を訪問しまし

えを進めました。

今回の親善訪問団には市自治連や婦人団体、青年団体、観光団体などから四十人が参加。姫路市役所に到着後、まず市庁舎前庭で、船越市自治連会長と足立市議会議

長の両氏が市の木サザンカを記念植樹しました。姫路市役所での歓迎式では、山名友雄姫路市助役が「今後とも交流を深め、両市がともに栄えていきましょう」とあいさつしました。本市からも市長のメッセージと、議長・団長のあいさつを送り、交流を深めることを確認しました。そして、訪問団は午後、新日鉄広畑工場と姫路城を見学しました。

なお姫路市からは、九月下旬に訪問団が本市を訪れ、交流を深める予定になっています。また姉妹都市十周年記念事業として、七月三十一日に姫路のお城まつりで鳥取市観光協会連として踊り子二十人が姫路市民にしゃんしゃん傘踊りを披露。八月一日には、姫路市で六回めの交歓スポーツ大会が開かれ、女子バスケットボール、柔道、弓道、婦人・少女バレーボールに技を競い合いました。

た。

鳥取と姫路の歴史的な関係は古

く、三百八十年前の慶長五年(一六〇〇)に姫路城主池田輝政の弟長吉が鳥取城主となったのが始まりで、輝政の孫にあたる光政が元和三年(一六一七)に因幡・伯耆三十二万石の領主になり城下町の整



市の木サザンカを記念植樹する足立市議会議長(中央)と船越市自治連会長(姫路市庁舎前庭で)

とっとり 地名めぐり

船着場からの説も

(5)

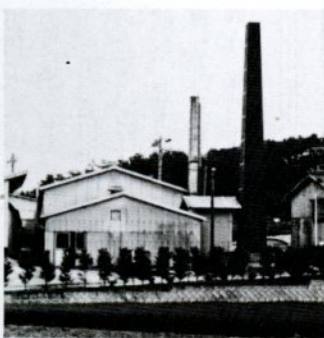
国鉄津ノ井駅の西南約一キロ、空山の緩やかな山なみの北のはずれあたり

に落ち着いた家並みがある。戸数二十六、人口百二十八の船木である。

船木

豊島 吉則

水田地帯の中に、異様な小山がみえる。近づいてみると、それはすぐそばの池の底から掘り上げた粘土の山だった。船木は津ノ井瓦生産の中心地である。瓦づくりの原料の粘土が、このあたり一帯の水田の下から掘



瓦づくりの里、船木の瓦工場

り出されているのだ。

雪が消えたあと、田植え前にかけて、近在の農家の女の人たちの手で、粘土掘りがすすめられる。白、黄、青、灰色などと重なる粘土の厚さは十センチ以上に及ぶという。

船木の背後の山は、登り窯の傾斜にぴったりの地形だった。徳川時代に瓦を焼き始めたころは、薪の材料もこの山からもたらされたらう。

今、登り窯は重油の焼成釜に変わり、窯元の数もかなり減少したと聞く。岡山県や島根県あたりの瓦屋の進出のあおりを受けたことだが、津ノ井瓦の巻き返しを期待したいものだ。

船木の丘から北を望むと、大路山や面影山が指呼の間に見えて、奈良の飛鳥の里を想わせる典雅な眺めだった。

しかし、条里の刻まれた船木の北の水田も、今は津ノ井工業団地の新しい息吹を受けて大きく変わりつつある。これも時勢のなせるわざであろうか。

船木の地名は、そばを流れる砂田川の船着場から来たとの説の他、粘土中の埋れ木から連想されるように、往古、入り海の水辺にあったことに因むとの説がある。

(鳥取大教育学部教授)

市民薬草健康講座

(講師：森下徳衛) ※昨年度市民教養講座講師

★とき8月24日(火)PM1:30~4:00 福祉文化会館 <4F> 鳥取市西町2丁目311

<鳥取市茶寿クラブ発会記念>

(特典) 薬草の実地研修会、薬草の種苗、球根の贈送及び薬草栽培の指導也

申込先●鳥取県薬農協同組合 鳥取市二階町3丁目211 ☎22-3676
ハガキ又は電話でお願いします。当日でも受付ます。
■受講料無料■参加者全員に「漢方健康読本」進呈

(茶寿とは) (茶)を二十(20)と読み、(寿)を米と読み八十八(88)、20プラス88で108才、即、人生108才まで心身ともに健康に生きることです。

全薬農グループ
●はとむぎ茶・紅花茶製造元
●株全日本薬農振興
●薬草栽培指導機関
全日本薬農組合連合会
鳥取県薬農協同組合

同和問題 シリーズ

▷ 62

中学校での同和教育の深まりによって、部落問題を科学的に認識し、不合理な差別に怒りを感じ、差別に打ち勝つ強い心と差別解消への強い信念が養われている生徒が育つて来ています。西中総合誌「ポプラ」第二十二号（五十七年三月発行）に掲載されている「人権作文」から同中二年の前川智未さん（当時一年）の作品を紹介します。

世の中には、「差別など無い。あったとしても、たいした問題じゃない」と、思っている人が多いようです。果たしてそうなのでしようか。「部落差別」――私は、この言葉に激しい怒りを覚えます。なぜなら、私は被差別部落の出身だからです。

私の学級でもよく「同和かあ、たいがいな。そんなことしてどうなるだあ？」なんて言葉を聞きます。はつきりいつて今の私たちは、同和問題の学習に対する関心や意識が低すぎ、人ごとのように考えているからだと思えます。私が同和問題を真剣に考えるようになってからは中学に入学する少し前からです。

部落差別の中で、現在いちばん厳しいといわれているのが結婚差別です。

私は母に、「お母さんはなぜ、同和地区以外の人と結婚しなかっただあ？」と聞いてみました。母は、

中学校での同和教育の深まりによって、部落問題を科学的に認識し、不合理な差別に怒りを感じ、差別に打ち勝つ強い心と差別解消への強い信念が養われている生徒が育つて来ています。

「小さいころ、お母さんのお母さんに、同和地区出身だと聞いてから、同和地区以外の人との結婚は

差別解消は 私たちの役目

西中2年 前川 智未

考えなかった。それにどうでも地区外の人と結婚しなくても……」

と、話してくれました。母は地区外の人との結婚は考えなかった、と言いましたが、私はちがうと思います。どちらかというと、母は地区外にいいなと思う人がいても、部落出身だということを知られるのをおそれたのだと思います。つまり母は差別をさけて通ろうとしていたのだと思います。

私は母のように、自分のふるさとをかくすような、弱い人間にはなりたくないです。事実、母たちの時代には、「部落だから」ということで、愛する人と結婚できず、貴い生命を失っていく人もありました。ある本で読んだのですが、結婚差別を受けた部落出身の青年の遺書に

「お父ちゃん、くやしいよ。くやしいよ。お父ちゃん」と、書かれています。私はこれを読み、他人の問題だと見過ごすことはできませんでした。少なくとも、将来私にこの青年のようなことが、おそつてこないとは断言できないからです。

最近、就職差別は解消されつつある、といわれていますが、このような差別が、平和で民主的で基本的人権の尊重されているはずの日本に、今も根強く残っているのです。とても残酷でむごい現実です。何が原因で幸せに生きる権利がおかされているのでしょうか。人間が人間を苦しめ、どこがうれいのでしょうか。全国三百万といわれる被差別部落の人たちが、差別にどんなに苦しめられてきたことか。同和地区の人のどこがいけないのですか。みんなとどこがちがうのですか。教えてください。私には、わかりません。このような理由なき部落差別に、私は怒りを感じずにはいられません。今でも、「ねた子を起こすな」同

和問題はそつとしておけばいい、という人があるそうです。それは、部落差別だとやかましく言うから、かえって差別が生まれ、何も知らない人にまで知らず結果になる、という考えです。でも、この考えでは部落差別はなくなりません。その証拠に、一八七一年（明治四年）の解放令以後百十年余りもたった現在でも部落差別は厳存しています。

「私は差別していないのだから関係ない」と思っている人がいるかもしれないですが、それは無責任な考えだと思います。部落差別は、私たち日本人全員の問題なのです。人間が人間として生きていくため、そして仲間として生きていくため、一つの壁だと思えます。この壁をのりこえるためには、これから

の社会を背負って新しい時代をつくる私たちが、同和問題を正しく理解していかななくてはならないと思えます。

これから先、いろんな不安や心配にふりまわされるかもしれませんが、私は差別に負けません。どんな困難にも負けない強い人間になります。なぜなら差別とたたかってきた、先輩たちの死や涙をおだにするようなことは、決してしてはいけません。

差別解消は、私たちの役目です。みんなの力で、この世から完全に差別をなくしましょう。

アフターサービスのゆきとどいた、おいしいお米をお届けする「あなたの販売店」

大谷米穀店	鳥取市片原5丁目	☎22-4393
小谷米穀店	鳥取市材木町	☎22-4346
佐々木米穀店	鳥取市片原5丁目	☎26-0266
田米穀店	鳥取市扇町	☎22-2674
霜田米穀店	鳥取市富安	☎24-4141
中村産業株式会社	鳥取市商栄町	☎22-4146
浜田昇一商店	鳥取市川端5丁目	☎26-6395
あさいち浜田商店	鳥取市大工町頭	☎22-3090
宮脇米穀店	鳥取市川端1丁目	☎26-2555
有限公司 米村商店		

朝ごはんは健康の糧です

自然の恵み

豊年米

指定モデル組合

鳥取県米穀卸協同組合

■本社 ●鳥取市商業町 ☎(0857)24-3381
 ■支所 ●倉吉市山根字内河原 ☎(08582)6-0836
 大型精米工場 ●倉吉市山根字内河原 ☎(08582)6-0836

市民のページ

市老人の主張「コンクールから」

最優秀賞紹介

お年寄りの立場から、住みよい鳥取市を築くための提言を発表してもらおう、と市老人の明るい

まち推進協議会が六月二十八日、福祉文化会館で二回目の市老人の主張コンクール大会を開きました。コンクールでは、九人のお年寄りが日ごろ感じていることや、考えていることを、一人十分の持ち時間で発表。内容、態度、話術の三項目で審査が行われ、最優秀賞に立川町三丁目の河村龍雄さん(七七)、「もう時間はいくらか残っていない」が、優秀賞に浜坂の花井美雄さん(六六)、「私の温室」と田園町二丁目の竹本晃二さん(六三)、「シワや白髪に誇りを持って生きたい」の二人が、奨励賞に中町の森原英治さん(六〇)、「人類の平和と健康長寿を祈り提言す」がそれぞれ選ばれました。最優秀賞の河村さんの作品を紹介します。

私は、ことし七十七歳になった。いわゆる喜寿を迎えたわけである。

男子の平均寿命をすでにオーバーしている。ということは、今、天国からお招きがあるかもしれないし、あつてもいささかおかしくない年齢にあるのだ、ということに気がついた。つまり私には「与えられた余生の時間は、もういくら

「もう時間は、いくらか残っていない」

も残っていない」のだ。とすれば、例え陽炎のごとき瞬間すら、無駄に過ごしてはならない、とつくづく考えた。

では、今後をいかに生くべきか！それは、「今、現在を最高に生きること」である。では「最高に生きる」とはどんな生き方か？それは「事の大小、上下の差別がなく、自他の人生の最も価値あることに、いっしょけんめいになることではなからうか。そのことが、自己を充実させることであれば、もちろん結構であり、さらに、他人に少しでも役だてば最上であり、そのことこそ、まさに生きがいそのものではないか。

を実行することにした。

その一ろうはなんでも見てやろう、二ろうはなんでも聞いてやろう、三ろうはなんでもやってみよう。端的にいえば、目による勉強、耳による勉強、肉体の体験による勉強で、ともかくなんでも当たって自分の時間を充実させることだ。しかし、いかにりっぱなアイデア



河村 龍雄 (77)

でも、これを実行せねば、いわゆる絵にかいたもちにすぎない。私はこの絵にかいたもちを、実は長い間かいていて、先般、赤恥をかいたのである。それは、次のようなことである。

ふと目に映った。「糸井内科医院」。この院長・糸井俊次先生こそ私を死から救ってくれた命の恩人、その人である。

私は、終戦直後の在阪時代、三十七歳のとき、盲腸炎を患い、腹膜炎を併発した。このとき診断してくれたのがこの先生で、診察を終えるや先生は、「気の毒だが、お前さんはもう駄目だなあ！」。つまり死の宣言を下したのである。しかし、この医者は、次の言葉で私を力づけてくれた。「心配するな、全力を尽くして治療してやる」。この先生のおかげで、私は喜寿を迎え得られたのである。

八十五歳のこの先生はすこぶる健康で、医業は子息に譲り、悠悠自適の毎日との話。種々雑談の中で先生曰く「あのとき、お前さんは、ボクは先生のおかげで生まれ変わったのだから、この新生は世のため人のため生きがいある人生にします、と言っていたが、あれからそんな生き方をしてごさるかな？」。この言葉には、私は一言もなく、赤面汗顔したのである。

そこで、あすの命を保証されていない私は、限られた時間、つまり、もういくらか残っていない私の時間を、この「三ろう主義」を実行することによって、価値あるものになりたいと思っている。

(立川町三丁目)

期待と興奮を秘めて...いまハートは熱くなる。



■ 創業30周年記念 ■

秋の大宝石展

■ とき 9月4日(土)・5日(日)・6日(月)
■ ところ ホテルニューオータニ鳥取(2F)

時計・メガネ・宝石・特選ギフト

中井脩時計店

本店 鳥取駅前サンロード ☎23-5221代
川路店 鳥取若桜橋 ☎24-2225代

六十年わかとり国体が正式に決まった七月七日、市自治連合会(船越堅一会長)の評議員三十人が去年のびわこ国体の開催地である大津市を訪問、国体運営へ向けてどのように住民運動が展開されたのか、を視察して来ました。参加した一人、賀露町の賀露地区副会長で地域体育会連合会長の深沢義治さん(六六)に大津市の住民活動の経緯について書いてもらいました。

大津市の住民活動

深沢 義治(六六)

市自治連合会評議員
地域体育会連合会長



大津市の人口は二十万三千人(七万八千世帯)で、本市(十三

万二千人、四万一千世帯)の倍近くある。国体に対する住民活動はどのように取り組まれたのか、一問一答形式で紹介し、若干の感想を記す。

問 開催種目は何か。

答 夏季大会で三種目(ヨット、ボート、カヌー)、秋季大会では六種目(陸上、バスケットボール、バドミントン、自転車、ライフル射撃、

国体成功へ大きな役割

高校野球)だった。問 選手・役員への受け入れについて、一般市民はなん年前から組織的に取り組んだのか。答 自治会や一般市民は、五十三年八月に発足した市民運動推進会議の中心となった。推進委員千九百七十人の中に、市民会議、婦人会、青年団、老人クラブ、子供助成会、体育指導員、町内会長も参画した。

問 具体的にはどのような協力をしたのか。答 市民憲章実行のよい機会であり、あくまで陰の協力を主体として、婦人会は清掃・歓迎・案内・接待などを、青年層は花ポット設置・歓迎などを担当し、笑顔と親切で心の触れ合いをたいせつにした。これらの活動で市民の連帯感が強化された。

びわこ国体の成功の要因は数多くあるが、大津市自治組織を中心とした住民活動を見逃すことはできない。例えば、小学校三十校を含めた二十四学区、五百六単位町内会をまとめた自治会活動が、琵琶湖を美しくする運動を基調として、五十三年度から国体を成功させようとする運動に発展して本

格化したのである。当初はなかなか気運が盛り上がりず苦労したとのこと。具体的には、ポスターの貼付やチラシの全戸配布をはじめ、継続的な家庭の清掃運動などで、それらは道路整備や環境美化につながっていった。県外の客を温かく迎えよう、と地味であっても、心もてなしを中

心に運動が展開されたのである。国体後の施設の維持管理についても、継続的に大きいスポーツの会を催すこともたいせつであるが、「国体記念の日」を設定して、県民あるいは市町村の総スポーツの日として健康を自ら身につける運動を開始するのも有意義ではなからうか。

とどろく文化サレバ

丹丘会は、日本画の会として四十年三月に創立し、十七年の歳月を経て今日に至ってお



丹丘会 120人が日本画学ぶ

ります。その間、数多くの同好のかたがたが余暇をさいて、絵画の道に精進され、この五月には三十一回めの展覧会「写真」を開催いたしました。

丹丘の集いは、絵をかくこともさることながら、その楽しさ、喜びとともに、人と人との温かい交わりが何よりも尊いものであることを信条として、現在百二十人の会員が、毎月二回の研修と春秋の展覧会に参加しております。また年二回の写生会では、遠出して自然と親しみ、和気あいあいのうちに交遊の情を深めてきております。

会員は、若い人、中年、老年と幅広く、みんな絵をかくことを無上の生きがいとしております。

当会への入会申し込みは、会長の林益堂(大代、☎23-5549)へ。林・記

日本海テレビ創業25周年・ポリショイサーカス鳥取公演 ★スリル・スピード・大爆笑!!ソ連が誇る偉大な民衆の芸術のフェスティバル!!

国立 **ポリショイサーカス**

開催日 9月4日(土)5日(日)6日(月)

会場 鳥取産業体育館(鳥取駅ウラ・鳥取駅より徒歩5分)

主催 日本海テレビ放送

後援 ソ連取市新聞 鳥取市新聞 鳥取市出版 鳥取市教育委員会 鳥取市社会福祉協議会

お問い合わせ先 日本海テレビサーカス係 ☎0857-247113

鳥取県内各プレイガイド好評発売中!!(○印の公演がごらんになります)

9月	4日(土)	5日(日)	6日(月)
10時開演	○	○	○
2時開演	○	○	○
6時開演	○	○	○
	貨切	貨切	貨切

S席 ¥3,000 A席 ¥2,500

★お買い求めは…シャミネ鳥取、ダイエー、鳥取生活センター全店、丸福レコード、レストランばらうあ、日本海テレビサービス又はお近くの読売新聞取扱い店どうぞ★

とっとり市議会だより



市章

第37号

編集・発行 鳥取市議会事務局

市勢メモ

昭和57年7月1日 現在	
人口計	133,642
男	64,986
女	68,656
世帯数	41,064
面積	237.29平方 ^キ 。

6月定例会

七月十一日盛大に行われた美保球場完成式



選挙ポスター掲示場を設置

56年度は黒字決算

先端技術産業の導入に意欲

鳥取市議会六月定例会は、六月十四日から二十一日までの八日間の会期で開かれ、市長提出の昭和五十七年度鳥取市一般会計補正予算など予算案二件、条例案六件、その他十六件の計二十四件をいずれも原案どおり可決、承認した。また議員提出議案「核兵器の全面撤廃と軍縮の推進に関する意見書」など三件を可決した。

市長は、議案提出にあたり次のような説明を行った。

去る五月、世界的な先端技術産業の集積地であるアメリカ西海岸シリコンバレーの視察団の団長として、シリコンバレーをはじめサンノゼ市役所、研究所等を視察し、新技術の積極的な創造開発への取り組みに強い感銘を受けた。今後、本市の企業誘致、殊に先端技術産業については、技術基盤の強化が必要であり、今後その拡充強化に鋭意取り組みたい。また、市民文化センターの完成、市営美保野球場も計画どおり完成するものと誠に同慶にたえない。さらに五十六年度は年度途中で市税の減額補正を余儀なくされ、厳しい局面に立たされたが、鋭意財源の確保と財政運営の効率化に懸命の努力を重ね黒字決算となった。

補正予算は、一般会計で公共事業その他緊急なものに総額六千三百三十一万一千円を追加した。また条例関係では市議会議員、市長の選挙ポスター掲示場の設置条例等。人事案件として人権擁護委員の推薦に同意した。

一般質問

市政一般に対する質問は、公明党、新政会、社会党、共産党の順で三日間にわたり行われた。各党派の質問のおもなものと市長答弁は次のとおり。

臨調第二部会報告と

今後の市政改革は

質問（公明党）

①臨調第三部会の舗装工事はいつ実施されるか。②のシステムの明確な位置づけを強く打ち出している。今や国をはじめ地方財政は厳しい状況に直面しており、今後の行政改革の主な課題である。地方行政のあり方については、第一に民間の自立・自助を基本に民間活力の活用、第二に「選択と負担」のシステムの明確な位置づけ、第三に補助金の整理合理化、第四に行政の減量、効率化の推進を論じ指摘している。現在本市も行政研究会で種々検討されているが、部会報告の内容について市長はどう受けとめられ、対処されるのか、また今後の市政改革について市長の所見を伺いたい。

③五十七年度保育所の児童の入所定数に対する措置数はどうなっているか、また五十八年度採用の保母採用試験は実施されるかどうか。④大路川改修工事により従来、舗装道路であった国道53号線から県道八坂鳥取停車場線区間の八百

質問（公明党）

①臨調第三部会の報告は主として地方公共団体の問題に焦点をおき、(一)国と地方の権限、機能分担のあり方、(二)地方財政制度のあり方、(三)補助金制度の整理合理化、(四)広域行政、(五)行政の減量、効率化につき基本的な考え方を述べており、われわれも多く傾聴に価する意見であると思う。国と地方の関係もかねてから地方に権限委譲を、についても明確にしている。しかし臨調提案の機関委任事務の割合を二年間で委譲する考えよりもっと積極的な対応をとるのが知事会等の意見であり、私もそう思う。また財政に関する選択と負担も、やはり諸種の施策には受益に応じた負担をすべきである。また財政問題については地方交付税の調整機能強化し、各自治体の保留財源を減らす提言は、市長会として遺憾の意を表明している。零細補助金の整理については同感である。また広域行政についての市町村の合併については、それぞれ市町村の自主的な問題である。また行政の減量、効率化は当然であり、本市もいち早く対応しているところである。いずれにしても私は市民に公約して今日まで市政を執行して参ったところの基本姿勢は変えるべきでないと思う。

行政の減量、効率化は当然

答（市長）

①臨調第三部会の報告は主として地方公共団体の問題に焦点をおき、(一)国と地方の権限、機能分担のあり方、(二)地方財政制度のあり方、(三)補助金制度の整理合理化、(四)広域行政、(五)行政の減量、効率化につき基本的な考え方を述べており、われわれも多く傾聴に価する意見であると思う。国と地方の関係もかねてから地方に権限委譲を、についても明確にしている。しかし臨調提案の機関委任事務の割合を二年間で委譲する考えよりもっと積極的な対応をとるのが知事会等の意見であり、私もそう思う。また財政に関する選択と負担も、やはり諸種の施策には受益に応じた負担をすべきである。また財政問題については地方交付税の調整機能強化し、各自治体の保留財源を減らす提言は、市長会として遺憾の意を表明している。零細補助金の整理については同感である。また広域行政についての市町村の合併については、それぞれ市町村の自主的な問題である。また行政の減量、効率化は当然であり、本市もいち早く対応しているところである。いずれにしても私は市民に公約して今日まで市政を執行して参ったところの基本姿勢は変えるべきでないと思う。

な考え方を述べており、われわれも多く傾聴に価する意見であると思う。国と地方の関係もかねてから地方に権限委譲を、についても明確にしている。しかし臨調提案の機関委任事務の割合を二年間で委譲する考えよりもっと積極的な対応をとるのが知事会等の意見であり、私もそう思う。また財政に関する選択と負担も、やはり諸種の施策には受益に応じた負担をすべきである。また財政問題については地方交付税の調整機能強化し、各自治体の保留財源を減らす提言は、市長会として遺憾の意を表明している。零細補助金の整理については同感である。また広域行政についての市町村の合併については、それぞれ市町村の自主的な問題である。また行政の減量、効率化は当然であり、本市もいち早く対応しているところである。いずれにしても私は市民に公約して今日まで市政を執行して参ったところの基本姿勢は変えるべきでないと思う。

答（砂丘荘管理者） ④優秀な国民宿舎の経営の取り組みをおきしたが、まず宣伝PRは確かに重要と思う。現在まで赤字経営を余儀なくされたためPRに十分な対策ができていないが、特に京阪神の利用者誘致にかけPRをしたい。施設関係としてスポーツ施設等の整備にも取り組みたい。現い、早急に対応したい。

国の大幅な歳入欠陥で本市への影響懸念

質問（新政会）

①わが国をとりまく内外の情勢は厳しく、とくに経済摩擦は深刻化し、また内需の不振と景気の低迷は国家経済に大きな打撃を与え、五十六年度では二兆八千億円、五十七年度三兆ないし五兆円の税収不足が見込まれている。この歳入欠陥は赤字国債の発行を必至にするとも景気への悪影響を及ぼすことは明らかである。かかる情勢は本市の財政運営に影響を及ぼすことは当然と思うが、市長はどう受けとめるかご見解を伺いたい。また、本年度予算に地方交付税約二十九億円、国県支出金約六十四億円への影響についてはどうか。

②報道によれば、この九月から日ノ丸、日交の両バス会社の競合路線は全て単独路線になるとのこと、一体どのような運行になるのか、もちろんこの再編成は両バス会社の経営健全化の措置とはいえず、その公共性を考えれば住民とのコンセンサスはどうか。自治体が助

成している赤字路線の補助はどうか。さらにわが新政会が要望している市内回りの乗り入れ復活と循環バス等についても伺いたい。

③市街化区域内の農業用水路は今や生活汚水のたれ流しで水路はうまり悪臭をはなち、降雨量が多ければ周囲の住宅への浸水、そのうえ農業用水としても余りにもきかない。このような農業用水路が市街地周辺の新興住宅地に多く見受けられるが、付近住民も関係農家も困惑し、その整備についてせめて浚渫だけでもと要望が強い。この整備と管理等について伺いたい。

④助役は、日中友好鳥取市親善使節団の団長として去る四月中国揚州市を訪問し姉妹都市の縁組を話し合われたが、その感触を伺いたい。また鳥取県日中友好協会が今秋訪中を計画しているが、姉妹都市縁組の促進の一助に再度訪中はいかがか。

提出議案

〔6月定例会〕

第58号 57年度一般会計補正予算

第59号 57年度土地区画整理費特別会計補正予算

第60号 議会議員及び長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例の制定

第61号 職員給与条例の一部改正

第62号 消防団員等公務災害補償条例の一部改正

第63号 非常勤消防団員に係る退職償金の支給に関する条例の一部改正

第64号 国民健康保険条例の一部改正

第65号 体育館の設置及び管理に関する条例の一部改正

第66号 字の区域及び名称の変更

第67号 町・字の区域及び名称の変更

第68号 工事請負契約の締結

第69号 工事請負契約の変更

第70号 損害賠償について

第71号 73号 専決処分事項の報告及び承認

第74号 77号 工事請負契約の締結

第78号 人権擁護委員候補者の推せん

請願と結果

〔採択されたもの〕

当面はないが 62年から影響

答(市長) ①五十六年度の歳入欠陥等に対する措置は、交付税特別会計で借入をし補てんをする措置により地方財政に影響はない。しかしその補てん分については、六十二年から一部負担がかかるため地方財政に影響がでる。

五十七年度の本市における財政見通しは、税収及び交付税とも堅実に見積っている。五十六年度と同様順調に運営できるものと思う。しかし指摘のとおり国における税収三〜五兆円の歳入減に伴う交付税への影響はまだ国の方針が明確ではないが、五十六年と同様な措置がされるものと思う。自治省も地方財政計画に決まったものは国が責任をもつと明言しており、従って五十七年度も同じような措置がされるものと思う。

②県の要請もあり陸運局で両バス会社のバス路線の調整が実施され、五十六年三月、バス路線調整案がだされ、中部地区は本年四月、西部地区は六月からすでに実施運行されている。東部地区はこの九月一日からの予定。なお住民とのコンセンサスは、以前から調整案も報道されており、県は、運輸省の調停を受け入れるという段階で改めてその必要はないという認識にたっているものと思う。

市町村の補助金は、不採算路線が減ればそれだけ少なくなる。また市内回り等については、過剰サービスと県の審議会の指摘もあり、

その代役として循環バスが運行された。いずれにしても市内回りの復活はないと思うが、市内の方が利用も念頭に入れた調整案であると思う。

③農業用水路は、市街化区域内であっても水利権者の管理が本来のすがたと思う。しかし現実的には水利権者が有名無実になっている場合が多い。ご指摘のような状況は下水道の整備を待たざるを得ないが、これはかなり先になる。従って現在臨時河川整備債で基本的な整備をすると同時に汚泥が多い農業用水路は市が浚渫をする措置

置を講じている。 答(助役) ④日中友好鳥取市親善使節団の団長として四月十三日から十一日間訪中し、上海、南京、揚州市、北京の四都市を訪問した。特に姉妹都市の縁組を働きかけた。揚州市では人民政府及び関係のそれぞれ責任者と訪問の趣旨を話し合い、揚州市側も理解をし、好意的であった。しかし揚州市は去る二月佐賀県唐津市と姉妹縁組をした直後であり、また体制の違いでもあり揚州市だけの判断で

はいいかない事情等を推察すれば、早急な縁組は困難と思う、が今後

津ノ井ニュータウン

62年分譲は可能か

質問(社会党)

①公共事業のかついでに、前倒し発注を七九・三割を計画しているとのことであるが、後半の景気対策について約二〇割で景気が維持できるかどうか判断されているか。

②津ノ井ニュータウン計画は、市長の目指す二〇万都市構想の中心の事業であり、市長自ら努力をされておるが、用地買収が一部地域で了解が困難をきたしたため、認可申請が八月になるとのこと、また私共は国の財政事情の悪化に加えて第二臨調の行革からみで資金的に今後の見通しに不安があつたが、市長はそれぞれ用途が異なる旨の答弁をされている。そこで六十二年を目途とした宅地分譲の見通しは予定どおりできるかどうか。

両市の間で友好親善を深めることによりそう遠くない将来に姉妹都市の縁組はできるものと思う。

なお揚州市を管轄する南京の関係者、上海での日中友好協会の方がたにも訪問の趣旨を伝え全面的な協力を要請した。

また、今秋、県の日中友好協会の派遣する訪中団には今のところ参加は考えていないが、参加者には鳥取市関係の方がたも多く、揚州市との交流を深めていただくことが、一歩一歩前進するものと思う。

④秋里地区の汚水処理は、分流方式により一部地区を除いて本年度完成となったが、雨水排水が極度に悪く、地域住民を悩ませている。この地区の雨水排水の見直しを伺いたい。

基本的には 大きくずれぬ

答(市長) ①年度後半の対応については明確に申し上げる段階にいたっていないが、国においてはこれらの問題にすでに取り組んでいるやに言われており、報道等では国は後半に相当の国債発行により公共事業を景気対策として実施する考え方を固めつつある方向と伝えられている。市も国の方針にそって対処したい。

制約があり、従って公団は新規地区を抑制する立場で対処しているようであり、既に実施を決定した地区は極力計画どおり推進する方針で対応すると承知している。従って津の井ニュータウンについては、国のこうした財政状況によりその事業が延びることはないと思う。しかしながらお話のあった六十二年完成、一部売却が万が一若干延びたとしても、基本的にはそう大きなずれはない。

③保健センターは、県の保健所のように医師が配置され医療相談等にあたる機関と違い、市民の気軽な健康相談に応ずるとともに、保健婦を中心として健康の基礎となる血圧、尿等を検査し、同時に健康カード等により常時市民の健康を把握できる体制をつくるという趣旨のものであり、それぞれ機関の目的に違いがある。また市立病院との併設の提言については、現在市立病院の将来の運営を諮問している時機でもあり十分検討に値するものと思う。しかし一方で医師会内部にも保健センターの構想もあり、あらゆる面を検討し、ほんとうに市民の健康の相談の場にあつたい体制をつくりたい。

④秋里地区の汚水処理については、お話のとおり今年度完了する。雨水についても幹線等はほぼ整備を終えているが、その他まだ未整備の路線があり、それらは将来下水道事業として全面的な措置が必要であるが、事業費の枠等もあり、整備がある程度遅れざるを得ない。

○江山中学校の体育館改築に関する請願

(玉津 近藤洋ほか)

○イデオロギーに拘泥しない韓半島南北当局最高責任者の会合と接触を歓迎し、実現支持の決議を求める請願

(行徳 尚仁植)

○**「継審となったもの」**

○たばこ専売制度の堅持に関する請願

(湖山町 竹本重美)

○市道認定に関する請願

(西町 景山好蔵ほか)

○市道編入に関する請願

(横枕 山下幹生)

○市道認定に関する請願

(安長 奥平浩蔵ほか)

○現鳥取郵便局の移転跡地底下並びに多目的公共施設建設に関する請願

(弥生町 西尾進ほか)

陳情と結果

〔採択されたもの〕

○防護寺公園墓地内真教寺墓地の水道タンク設置に関する陳情

(戎町 永井賢晃ほか)

○防球ネット設置等に関する陳情

(卯垣 山森義則)

○稲葉山小学校改築に関する陳情

(卯垣 仁保義隆ほか)

○国体の取り組みと学校教育に関する陳情

(吉方温泉 田江恵美子)

○会館新設に関する陳情

(的場 霜田源太郎ほか)

好評の図書館 一層の充実を

質問（共産党） ①去る四月三十日米軍機の墜落事故が発生したが、この米軍機は、韓国の核攻撃の最終線基地の烏山基地を発進したものであり、限定核戦争の一翼を担う米軍機がつねに本市の上空を飛び訓練を行っていること自体、日米安保条約の危険性をあらためて告発するものである。

鳥取市の上空が侵略戦争を目的とする米軍機の航空路と訓練飛行の空域となっていることに抗議し、今後取り止めることとあわせ真相の解明を政府、米軍に申し入れるべきと思うが、市長のご所見を伺いたい。

②五月にオープンした図書館は、予想を大きく上回る人気に、より一層の充実が必要である。現在七人の司書が配置されているといえ、業務に忙殺され全きりぎりの運営を迫られている。さらに加えて最近始まった移動図書館の巡回等でますます人的に運営面で

支障が心配されるが問題はないか。四五二人で、また貸出状況もこのまた、図書館の地元書店からの優先購入についてどう対応されるか、児童図書八、八三二冊といずれもさらに移動図書館の巡回について基本的な取り組みについて伺いたい。

現在の配置で 対応できる

答（市長） ①日米安保条約及びこれによる取りきめがどうなっているか、直接市政に関係がないし図書館サービスの向上に一層努力をためよく理解していかない。従って軽々しく意見を申し上げるべきでないと思う。しかし、こと市民の安全にかかると問題であり、今後市民が大きな犠牲を負うことのないよう私なりに最善の努力をしたい。

答（教育長） ②図書館は大変好評で、五月末日の登録者数四、所程度を目標とした。

議員発議

議員発議で三件の意見書等が提案され、原案どおり可決し、関係機関への提出が決まる。

意見書等とその要旨は次のとおり。

核兵器の全面撤廃と軍縮の推進に関する意見書

世界の恒久平和は人類共通の願望であるにもかかわらず、核軍備及び通常兵器の軍備は拡大競争の一途である。わが国は世界唯一の核被爆国として、また平和憲法の精神からも核兵器の全面撤廃と軍縮の推進に積極的な役割を果すべきである。従って政府においては非核三原則の堅持、すべての国の

すべての核兵器への反対と全面撤廃、また国連軍縮特別総会における核軍縮等に係る具体的措置の実現、さらに国連を中心にした反核兵器世論の喚起等に努力すべきである。

第九次道路整備五カ年計画の策定に関する要望決議

行財政再建計画の先行により、昭和五十七年度を最終とする第八次の道路整備事業の完全達成は困難な見通しである。地方の時代を迎え、また、過疎、交通事故対策のうえからも道路の整備促進は緊急を要するものである。従って政府は揮発油税、自動車重量税等の

六月議会で議決したおもな条例と内容は、次のとおり。

鳥取市の議会の議員及び市長の選挙におけるポスター掲示場の設置に関する条例（制定）

市議会議員及び市長の選挙ポスター掲示場を設置するため。

鳥取市消防団員等公務災害補償条例の一部改正

消防団員等に対する補償額を引き上げるもの。

鳥取市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の

一部改正

七月臨時市議会

七月二十一日、昭和五十七年第二回鳥取市議会臨時会が開かれ、提出議案は、いずれも原案のとおり可決された。なお、今臨時会において教育民生常任委員長に井上幸喜議員の就任が決まった。

なお、議案とおもな内容は次のとおり。

第79号 鳥取市官住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
市官住宅の入居者資格の収入基準等を改定するもの。

財源を確実に充当し、昭和五十八年度からの第九次五カ年計画には大幅な事業枠の拡大を図り、道路整備の推進にあたるべきである。

朝鮮の自主的平和統一促進に関する要望決議

朝鮮半島は、単一領土、単一民族であるべきが、遺憾ながら南北分断された現実である。しかし朝鮮民族は自主平和裡に南北統一を非願している。これが実現は、日本をはじめアジア諸国のみならず平和を愛する世界人類の課題である。高麗民主連邦共和国の創立を期待し、その理念と運動を支持する。

ポスター掲示場設置条例など

非常勤消防団員の退職報償金を引き上げるもの。

鳥取市国民健康保険条例の一部改正

国保料の賦課限度額を二十七万円に、また保険料の減額対象世帯の範囲を拡大。

鳥取市体育館の設置及び管理に関する条例の一部改正

山の体育館を設置し、使用料等について定めるため。

鳥取市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の

一部改正

○身体障害者医療費助成に関する陳情
○(湖山町) 島田安夫ほか
○稲葉山地区コミュニティセンター用地確保に関する陳情
○(立川町) 浜崎徳蔵ほか
○「不採択になったもの」
○「人間をかえせ」外の映画フィルム購入等に関する陳情

○(吉方温泉) 田江恵美子
〔7月臨時会〕
第79号 市官住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正
第80号 千代テニス場の設置及び管理に関する条例の一部改正
第81号、84号 工事請負契約の締結

議員発議案

○議員発議案第10号 核兵器の全面撤廃と軍縮の推進に関する意見書
○議員発議案第11号 第九次道路整備五カ年計画の策定に関する要望決議
○議員発議案第12号 朝鮮の自主的平和統一促進に関する要望決議

